

新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 平成 26 年度第 1 学期活動報告

<英語>

開設 2 年目となる本学期は、前年度の利用状況を踏まえた改善を行った。具体的には、異文化間コミュニケーションを促進するために「英語チャットのマナー&表現集」を作成してチャット参加者に配付すると同時に、チャット実施におけるガイドラインを作成して担当の英語チューター（会話をリードする留学生）に配付した。また、利用者にわかりやすいように、小グループでのテーマ別学習の名称を「Study Group」に統一した。本稿では、まず第 1 学期の活動参加者数を報告し、つぎに FL-SALC の活動のうち最も利用者が多い「英語チャット」について、参加者（主に日本人学生）および英語チューターを対象に実施したアンケート調査の結果を報告する。

I. 活動参加者数

総数（延べ人数）：1,749

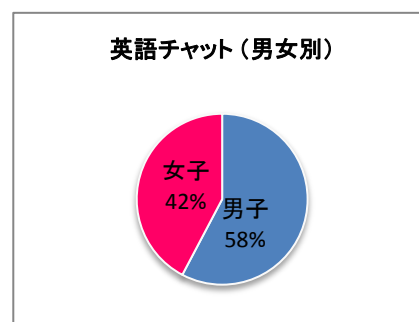
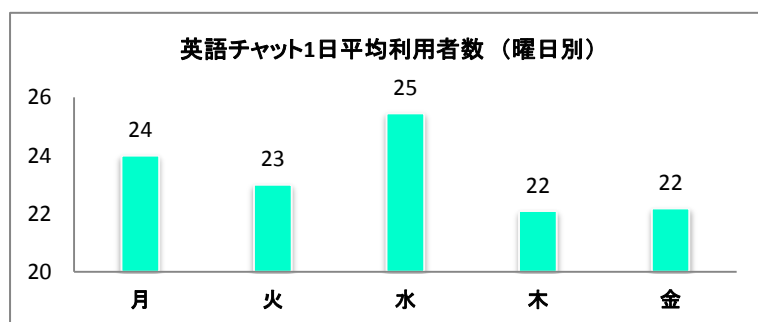
※授業期間中の活動：英語チャット 1,450、英語学習カウンセリング 93、Study Group 186、

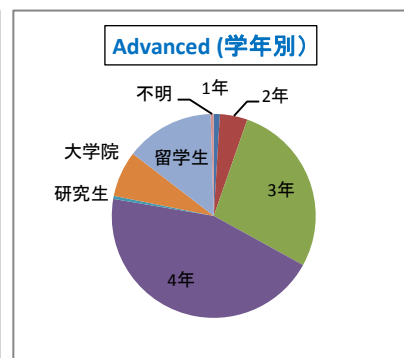
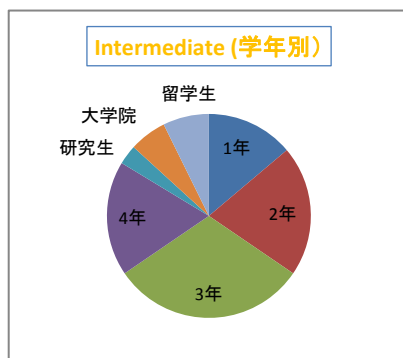
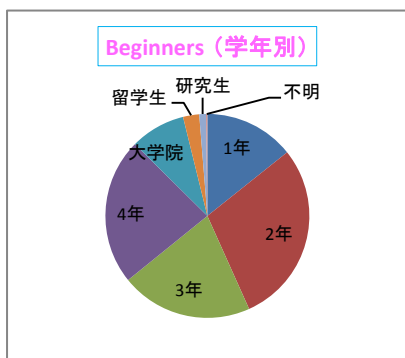
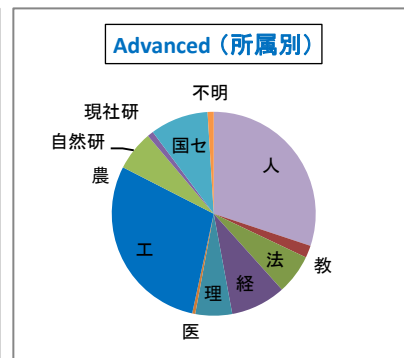
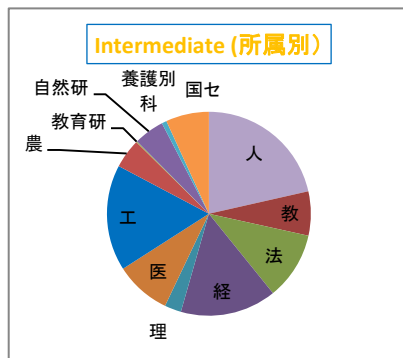
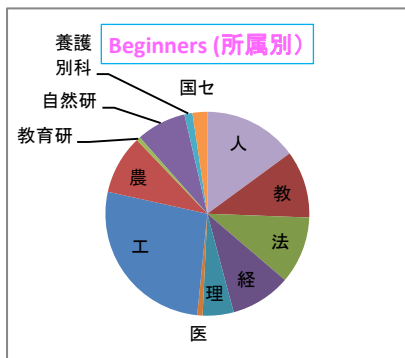
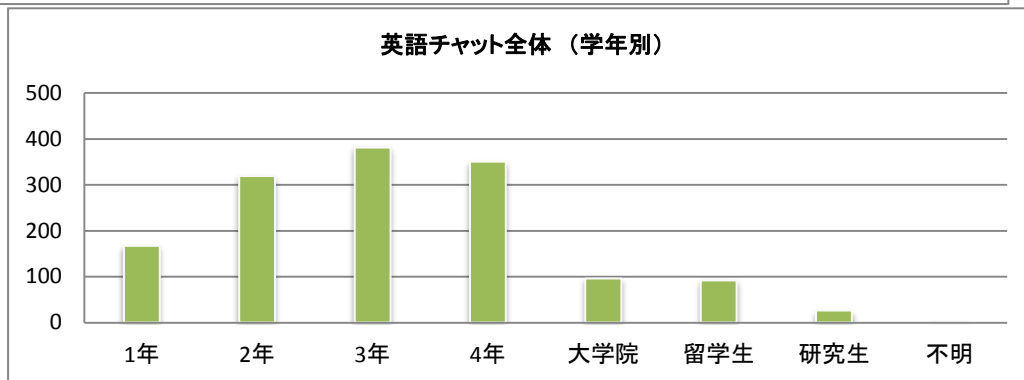
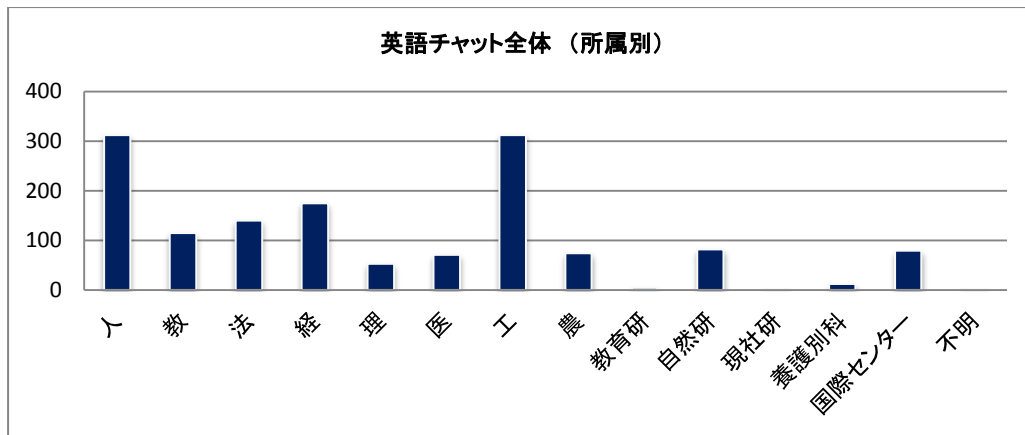
アカデミック・ライティング・センター 15

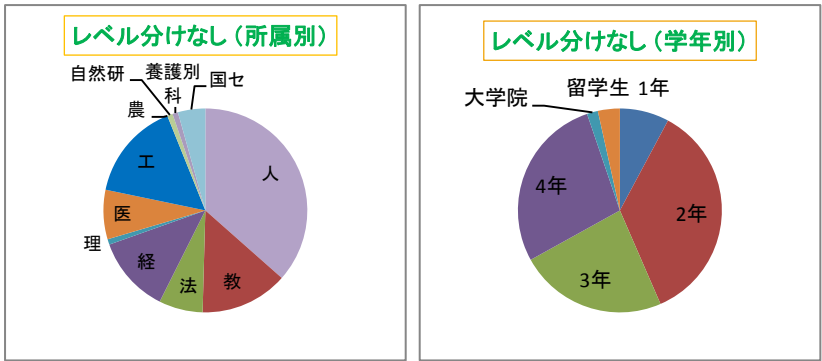
※授業期間後の活動：オープンキャンパス（英語学習カウンセリング紹介） 5

1. 授業期間中の活動（4 月 11 日（金）～7 月 30 日（水）学期末試験開始前日）

●英語チャット（2 階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）

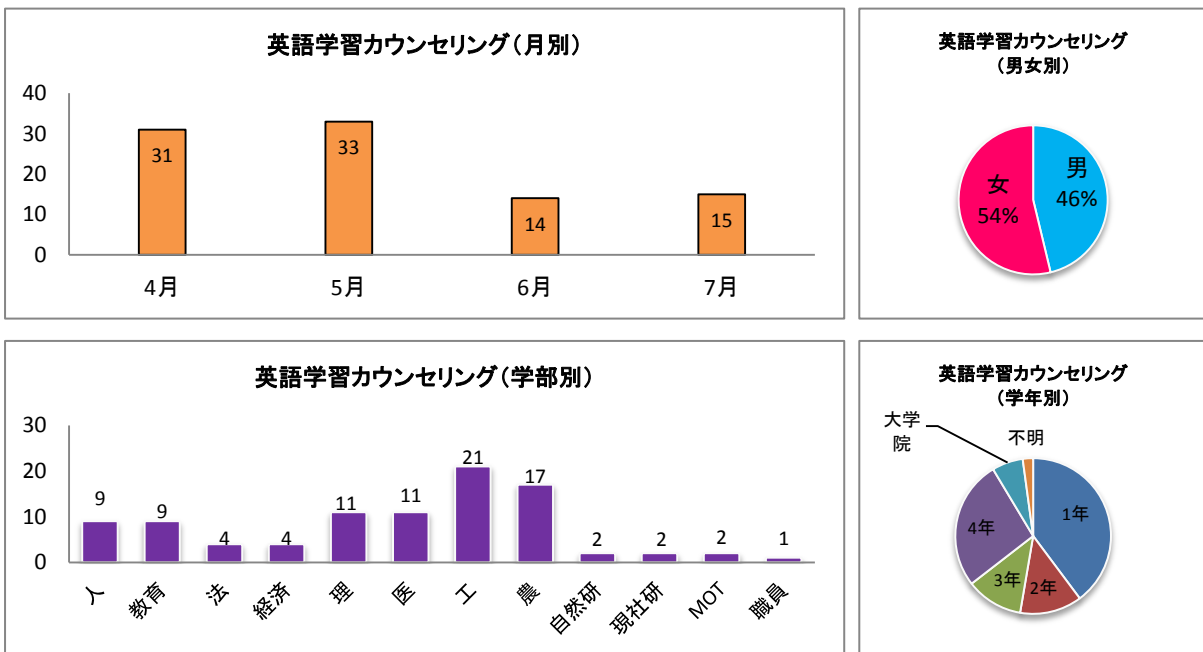






- ▶ 前年度同様、英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員やアドバイザーは介入せずすべて学生同士の自主性に任せた。昼休みのチャットは緩やかな 3 レベル (Beginners, Intermediate, Advanced) に分けて、参加者自身に選択させた。
- ▶ 異文化間コミュニケーションの基礎を理解し、他人にも配慮しつつ積極的に参加できるよう、利用者向けのマナー&表現集を作成して配付した。
- ▶ 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして 9 名雇用した。内訳は、ロシア 1 名、ドイツ 2 名、ミャンマー 1 名、トルコ 1 名 (オランダとの二重国籍)、イギリス 1 名 (中東での居住経験あり)、中国 1 名、ニュージーランド 1 名、フランス 1 名であった。
- ▶ 英語チューター業務のガイドラインを作成し、チューターが常に参照できるようにした。
- ▶ 今後の課題：
初級レベルの学生にとってはビギナーズ・チャットでも敷居が高く、参加しても話す機会を逸してしまうことが多々あるようなので、チューターと 1 対 1 のセッション設置を検討する。話題については、コミュニケーション能力育成の一貫として参加者からの提供を促す。

●英語学習カウンセリング (FL-SALC 内および総合教育研究棟 B360 にて実施)

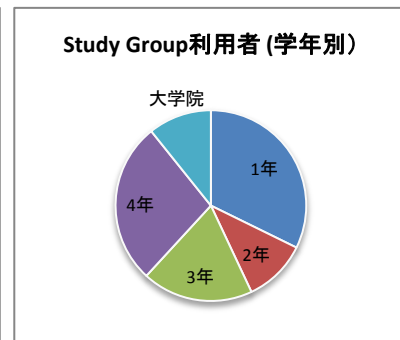
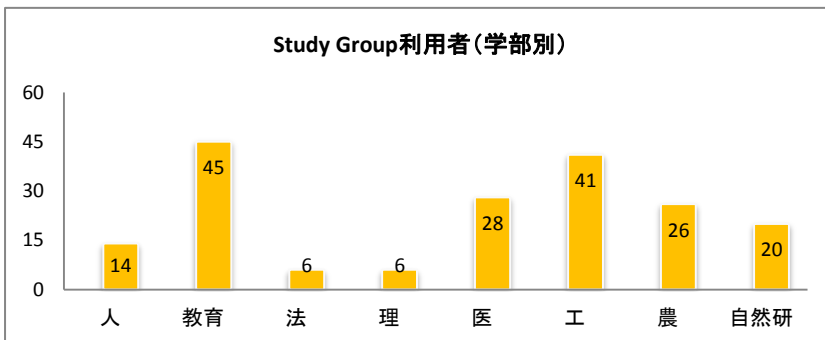
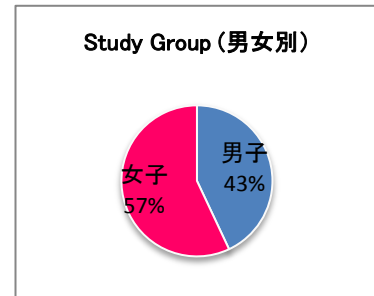
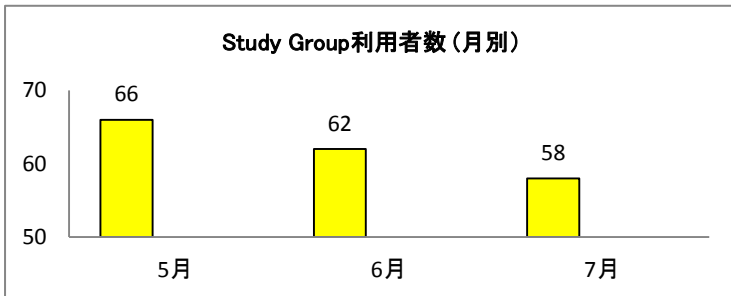


- ▶ 英語学習カウンセリングでは、利用者が英語の「学び方を学ぶ」ことによって、自律した学習者となることを主な目標としている。前年度から引き続き、個別の学習相談シートを作成し、学習目標の設定、教材の選定、学習計画の策定、ふりかえり等をサポートを行った。
- ▶ 第1学期の主な相談内容

項目	4月	5月	6月	7月	平均
TOEIC 対策	41%	44%	50%	25%	40%
TOEFL/IELTS 対策	12%	6%	10%	13%	10%
その他英語資格に関する質問(英検など)	2%	0%	0%	6%	2%
留学関連:留学先、留学のための学習相談等	2%	5%	20%	13%	10%
スピーキングスキルに関する相談	7%	16%	5%	13%	10%
リスニング/リーディングスキルに関する相談	5%	6%	0%	0%	3%
ライティングスキルに関する相談	2%	0%	0%	0%	1%
目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	12%	13%	10%	31%	17%

- ▶ 今後の課題：
 - ・ 英語の苦手な学生の利用を促進する。

●登録制および自由参加型 Study Groups (3階グループ学習室にて実施)



- ▶ 英語の成績上位者または下位者をターゲットとする Study Groups を提供した。
- ▶ 第1学期 Study Groups
 - ・ 火曜 12:00-12:30「英語チャットで使える便利な表現」(担当:教育・学生支援機構准教授 ハド)

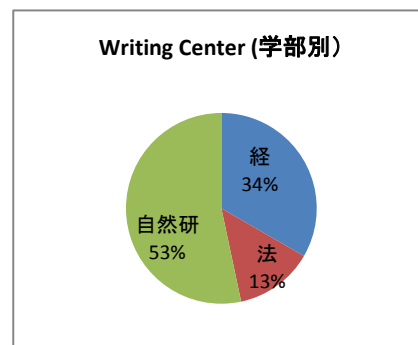
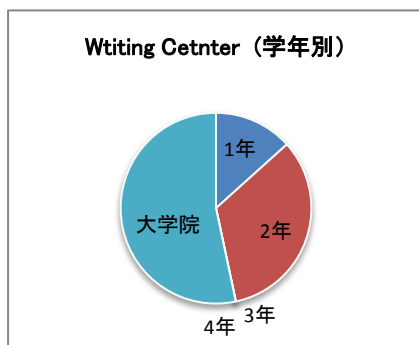
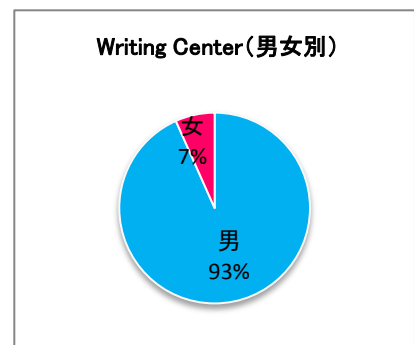
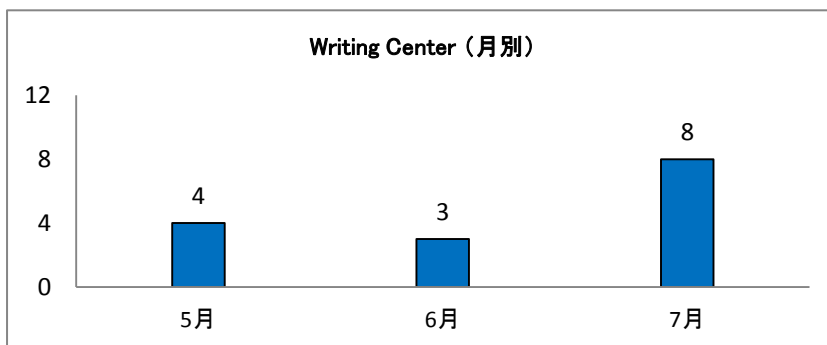
リー浩美、自由参加型)

- ・ 火曜 13:00-13:30 「英語で話す！超初級トレーニング」(担当：教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美、登録制)
- ・ 木曜 12:00-13:45 「英文法をもう一度 Part 1」(担当：人文社会・教育科学系准教授 平野幸彦、登録制)
- ・ 金曜 13:00-14:00 「TOEFL Study Group」(担当：教育・学生支援機構特任助教 奥村圭子、登録制)

➤ 今後の課題：

前年度までは学生がいつでも気軽に参加できるよう飛び入り歓迎の「一回完結型」を模索したが、英語学習はそれになじまない場合が多く、学生も教員も消化不良の感が否めなかったため、本年度は基本的に事前登録制として学生の継続的な参加を奨励した。しかし、最後まで継続的に参加した登録者はそれほど多くなかった。

●アカデミック・ライティング・センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週木曜 12:00-13:00 にライティングのアドバイジングを実施した。(担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

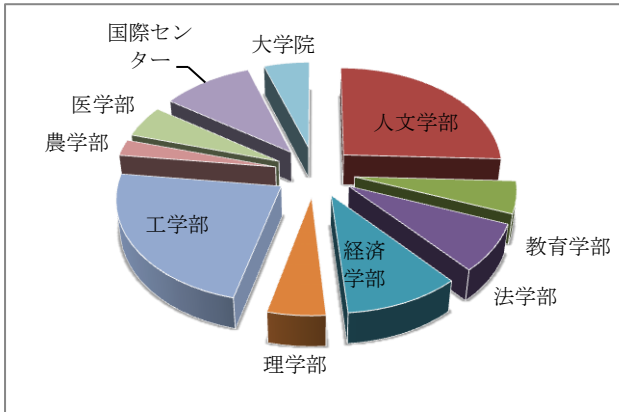
2. 授業期間後の活動

●オープンキャンパス特別イベント (8月11日(月) 12:00-12:30、13:00-13:30)

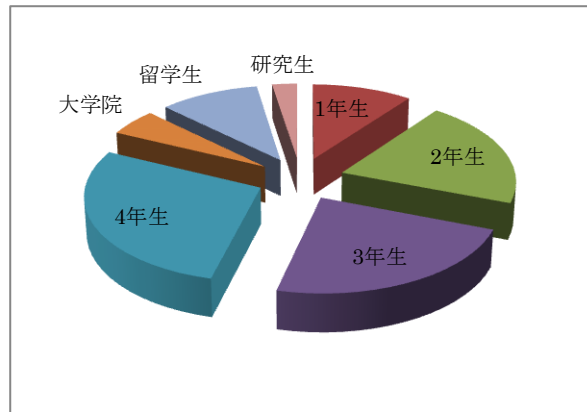
II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2014 年 7 月実施、39 名回答、記述部分は原文のまま)

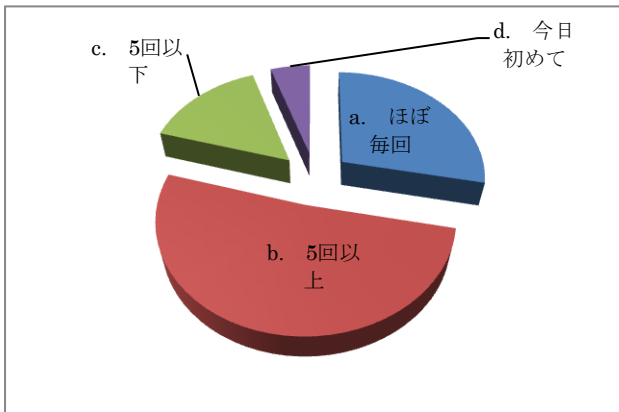
1. 所属



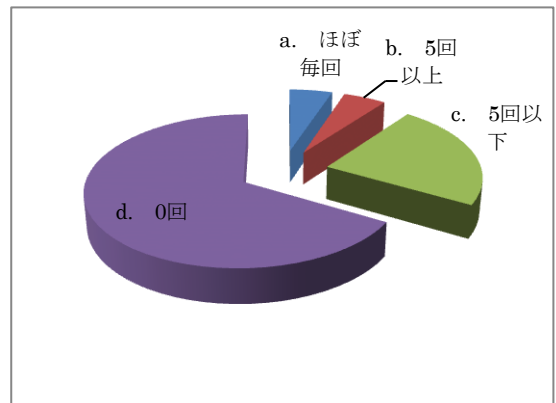
2. 学年



3. 今学期の英語チャット参加回数

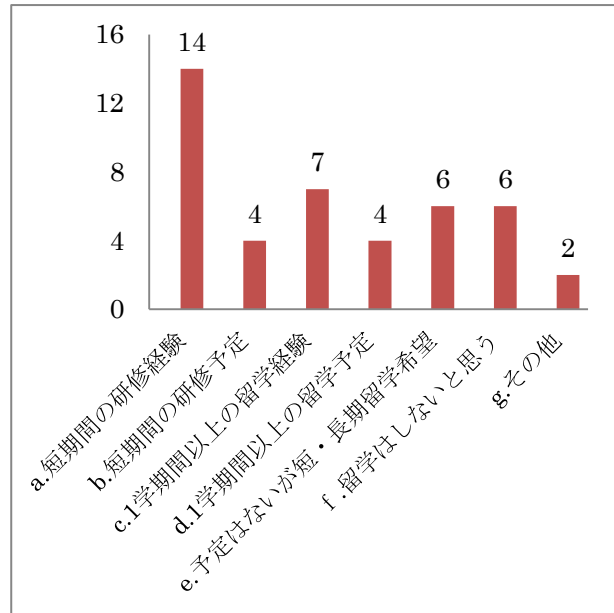
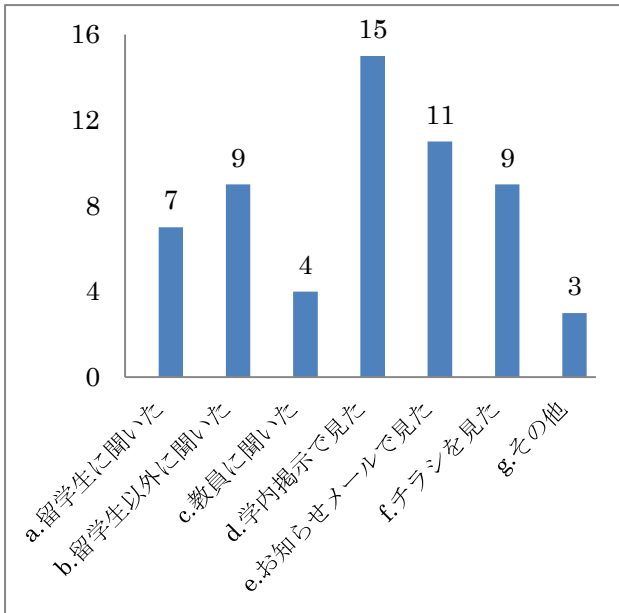


4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



5. 英語チャットを何で知りましたか (複数回答可)

6. 留学したことはありますか



7. 英語チャットに参加した動機は何ですか？

<英語力強化>

- ・ スピーキング力の向上 (12件)
- ・ 英語力の向上 (5件)
- ・ 語学力の向上 (4件)
- ・ 何とかして使える英語を学びたかった
- ・ 机に向かうものではないので続けられると思った
- ・ 英語の勉強のため
- ・ 英語のスピーキング・リスニングを勉強するため
- ・ 英語を話さなくてはいけない機会があるから
- ・ 去年カナダに行き英語を話すことが出来なかったため
- ・ 英語を忘れないため

<英語を話す機会>

- ・ 英語を話す機会が欲しかったため (4件)

<留学生との交流>

- ・ 留学生と会話したいため (5件)

<留学準備>

- ・ 留学を考えているため (2件)
- ・ TOEFL iBT 受験準備のため

<その他>

- ・ 人と話したいから
- ・ 友達を作るため
- ・ リラックスして楽しめるから

- ・ 異文化を知ることができるから
- ・ 友人に誘われたため
- ・ 特別な理由はない

8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

<英語力強化>

- ・ スピーキングの練習になった (5件)
- ・ 英語で話せるようになった (4件)
- ・ スピーキング・リスニングの勉強になった (3件)
- ・ TOEIC の点数も 200 点くらい上がった
- ・ speaking で言いたいことを簡単に伝えられるようになる
- ・ speaking (思ったことをなんでも言うしてみる)
- ・ TOEIC のリスニング練習になりました
- ・ いろいろな国の学生がいるので、色々な国の英語を勉強できる
- ・ I can to speak English more fluently.
- ・ By attending English chat, my listening and speaking will get processed.
- ・ Life English
- ・ 日常会話で使える表現を学べる
- ・ 日常用語が学べる、簡単な文の言い回しを学べるという点で役に立つ
- ・ 基礎的な言い回しが身についた
- ・ 日常会話をするために慣れた。より勉強しようと思った
- ・ 英語の会話表現を学べた
- ・ ネイティブの留学生が使う英語表現を会話の中で学ぶことができた
- ・ 自分が覚えたことを実際の場面で使えたことにより、コミュニケーションとしての英語力がついた
- ・ リスニング・会話・語らい
- ・ リスニング力
- ・ もっとスピーキング、リスニング、ボキャブラリーを鍛えねばと思った

<英語を話す機会>

- ・ 自主的に英語を勉強したい人には無料で進んで参加が出来るのでとても良い。強制ではないので楽しく参加でき、継続しやすい。
- ・ 英語を話す機会が貴重だから嬉しい
- ・ 会話できる機会が普通はないため役にたった
- ・ なかなか安価か無料で面と向かって話せるところはないのでありがたい
- ・ 実践の場

<留学生との交流>

- ・ 留学生と友達になれた

<その他>

- ・ 自分がどれくらい英語を使えるかを知ること
- ・ まだ2回目なのでよくわからない
- ・ まだわからない

9. 英語チャットは、異文化理解の点から具体的にどのように役立ちましたか？

- ・ 日本人でなく、中国人やフランス人など沢山の国と人と意見交換できた
- ・ 文化、教育など様々なトピックを話す時間があるので良い
- ・ 色んな国の留学生と話せるので国の違いを知れる
- ・ 英語の方が色んなことをダイレクトに聞きやすい
- ・ 異文化理解が深まった
- ・ 様々な国の文化を知ること海外への興味が深まった
- ・ 異文化理解のためにまず日本文化を改めて知るべきだと考えました
- ・ 異なる国の文化が知れる。改めて日本の事を考えられる
- ・ **the difference between American culture and English culture**
- ・ 外国の人は考え方も違うと感じた
- ・ 英語圏だけでなく、独・仏・ニュージーランド etc の文化を知ることができ、日本との違いを詳しく知ることができた
- ・ 役にたった
- ・ **I can learn a lot of culture.**
- ・ 日本と中国と他の国の文化が分かるようになった
- ・ **a little understand**
- ・ 様々な国の人話ができる
- ・ よく旅行した人の経験を知らせてもらう
- ・ 色んなトピックを通して様々な文化を知れる
- ・ 日本人だけじゃなくて、多くの外国人に会える！
- ・ 色々な国から来た人がいるので、それぞれの国の文化について聞くことができた
- ・ 普段聞くことのできない内容を聞くことが出来て良かった
- ・ どの国の人も仲良く話せてよかった
- ・ 視野を広げる
- ・ 様々な国の人がいるため、様々な文化を知ることが出来る。日本の文化も教えることが出来る
- ・ 文化の違いを実感できた
- ・ 自然な形で異文化を知れた
- ・ チューターの方が「自分の国は～」と日本と比較して話してくれるので異文化を学ぶことができる
- ・ 普段留学生と交流する機会があまりないので、留学生と交流し様々なことを話せ意見交換出来た
- ・ 皆さんが本当に日本の文化に関心をもっているんだなあと思った。もっと私も勉強せねば
- ・ 生活の様子が多まにでてくるだけでなく日本人と考え方や性格の違いを感じることもある
- ・ 留学生の日本についての質問によって再考

- ・ その国のことを知ることで、その国旅行してみたいと思うようになった
- ・ 具体的な知識の吸収
- ・ まだわからない

10. 英語チャットに参加して、困ったことはありましたか？

<トピック>

- ・ トピックが見つげにくいことがある。話したい人、話せる人ばかりが話してしまうことがある
- ・ たまにトピックがない
- ・ 話題が同じ内容になりやすいので、いくつか用意されてるとありがたいです
- ・ トピック不足（深刻）
- ・ 時々話すことがなくなり、沈黙することがあった
- ・ 話が止る時（単語が出てこないとき）
- ・ 話題が少ない時があった

<英語力>

- ・ sometimes I can't understand, because I can't master too many words.
- ・ 英語がなかなかでてこない
- ・ My English skill (sooooo poor)
- ・ 単語が出ててこない
- ・ ボキャブラリー
- ・ 表現、単語が思いつかない
- ・ 時々英語を聞き取れないことがあるが、どんどん進んでいって話についていけなくなる時がある
- ・ 自分がしゃべれない！言葉がでてこない！
- ・ 単語が出てこないとき

<その他>

- ・ あまり行かないと、仲の良い留学生達が盛り上がっている
- ・ 外国人がたまると話す機会が減る
- ・ ビギナーでも英語を沢山話せる人がいるので話しにくい時がある
- ・ 人数が多すぎる時がある
- ・ 難しい
- ・ イラストなどを書くための紙、ホワイトボードが欲しい
- ・ よくお腹が空いた
- ・ なし（15件）

11. 英語チャットをより有意義なものにするために、何かアイデアがあれば教えてください。

<トピック>

- ・ トピックが絶えないようにする

- ・ トピックを作る（作って欲しい）

<広報>

- ・ 必修ではない英語の授業で告知する
- ・ 参加メンバーが固定しているので、もっと多くの人に宣伝して来てもらってはどうか

<時間・場所>

- ・ 5限の時間を増やして欲しい
- ・ 休講中にあれば参加しやすい
- ・ beginners ですが、結構混んできてテーブルに収まりきれないことがあったのでもう少しテーブルが増えたらなと思いました
- ・ 図書館だけでなく他の学部の建物でもやったらどうだろう？正直工学部棟から来ると遠く、来て早めにきりあげなきゃいけない

<その他>

- ・ チューターの人などがその人にあったレベルを提案するとレベル分けが明確になると思う
- ・ 使える表現をもっと纏めてくれると嬉しい
- ・ イラストなどを書くための紙、ホワイトボードが欲しい
- ・ もっとゲームやりたい

III. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

（2014年7月実施、9名中全員回答、原文のまま）

質問：

- (a) What were your reasons for applying for the English Tutor position?
- (b) How has the experience as an English tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do you have any suggestions?

英語チューター1

- (a) I was enjoying English chat in the fall semester already as a guest, so I knew it was a fun and interesting way to earn some money.
- (b) I am sure I could develop my communication skills further. I could get some insight into the life and mind of Japanese university students.
- (c) I cannot think of anything that was not enjoyable.
- (d) I understand that some topics are a bit delicate to talk about, as people can disagree and maybe feel offended by other opinions. However, in my honest opinion, discussions, especially about important matters such as politics e.g. broaden everyone's minds and are an important part of higher education that should be sought at university. Therefore, I suggest leaving it up to the language tutor to decide whether and to what extent to discuss such matters, especially when students show interest in these topics.

Also, discussions about deeper matter give more advanced English speakers a better chance to use and practice more elaborate vocabulary.

英語チューター2

- (a) I wanted to make new friends with Japanese students to learn more about Japanese culture and to improve my communicative skills.
- (b) I met a lot of new people. With some of them we became really good friends and spend weekends together. I became more confident in my communicative skills in English.
- (c) Nothing.
- (d) Better air-conditioning. Sometimes it was too hot.

英語チューター3

- (a) I wanted to meet more Japanese students and learn about Japanese culture.
- (b) I feel like I've developed my conversation skills and this has helped me outside at FL-SALC. I've also learnt things about Japan through talking to the students.
- (c) Sometimes it was hard to start a natural, easy conversation. A few sessions felt more like interviews or Q and A sessions, not conversations.
- (d) Perhaps if students have things they'd like to discuss, they should be told they're welcome to bring those questions/topics with them. Also I feel the ban on discussing politics, religion and other contentious subjects is an issue. Although I wouldn't raise these topics myself, often time students wanted to discuss these things. Especially for the advanced groups, these topics create excellent chances for discussion and to learn advanced vocabulary.

英語チューター4

- (a) I was interested on developing contact and relationship between Japanese people..
- (b) Helped me to manage during a short time the chat session and manage everyone's entertainment!
- (c) I had always to look for new topic because we spoke with same people every time. I think that war, law, politic and religion are very prospenteous (sp?) conversations but we were not allowed to speak about it. Even if it is sensitive topic, it helps people to deal with paradoxical feelings and understand things from another point of view.
- (d) If students can bring or try also to talk/begin with a topic they want to talk about it would be nice because sometimes when we ask them they don't know what they want to talk about.

英語チューター5

- (a) ①I want to communicate with different Japanese students.

- ②To practice my oral English.
- ③To learn more of other countries' culture (Japan, Korea...)
- (b) ①I found myself more focus on the ideas and thoughts come from Japanese students.
- ②I can know better of Japanese culture and tell other international students something about Chinese culture.
- ③I know more of responsibility and be open to foreign cultures.
- (c) Sometimes when we couldn't find some topics to talk, it was kind of awkward, and it seems like we were always talking about the same topic again and again.
- (d) Sometimes Japanese student come a little bit late, and they cannot find their seats even we have space. I think that's because they feel the atmosphere is not appropriate to break. So I suggest we, tutors, give them some eyes communication to lead them join our chat sessions.

英語チューター6

- (a) The main reasons were earning some money and getting some Japanese friends.
- (b) I think I can understand Japanese culture or the feelings of Japanese better.
- (c) Sometimes it comes a verbal abuse or discrimination since words are weapons, and must be chosen with care. As a tutor you can't stop words that are carelessly spoken and have already hurt someone. Some people need a manner advise from real superiors.
- (d) Attendees of the beginners chat are missing either grammar or lots of vocabulary or just self-confidence or any combination of these. I think for grammar education native speakers would be the best choice, since they have build up a natural understanding and can teach it better.

英語チューター7

- (a) My reason as for this semester was; making friends, seeing how the students are improving themselves and making them feel much more self-confident about themselves when speaking with other people. In other words, I wanted to see if my efforts of the last semester did work out or not. If not improve and improvise for the students.
- (b) The experience was and will be something that I hold dearly to. It made me a much more open, experienced and adoptable to the situation. It made me feel as a part of the Japanese culture since they exchanged their personal stories with me.
- (c) There are things I do regret: for example there are people that were too shy to talk, so I pushed them too much which made them a little unstable and out of control. I think they will be a much better person in time, but for the time being they are "unstable." This is my only regret and not pleasant things of chat.
- (d) I think the use of technology needs to implanted into the chat a little more, so the system can work perfectly. If the tutors have a tablet computer at the chat they will be able to

collect data real-time and upload their chat session information so the other tutors will get direct access to the information. Since the system that is used at the moment is not working because we need to find the names and days to see what and how they did do the chat and still it isn't enough. If you would like more information e-mail me please.

英語チューター8

- (a) To have a conversation with Japanese students as well as to have a deeper understanding of Japanese people and culture.
- (b) Able to understand different culture from different country, eg: China, Korea, Japan. Become good listener, patient, and open minded.
- (c) None.
- (d) None.

英語チューター9

- (a) I wanted a job. I thought English Chat would be super interesting. I thought I could be good at English Chat. I wanted to meet more Japanese people and help them learn English.
- (b) I have made good friends. I have become better at starting, facilitating and steering conversations. My leadership abilities have improved.
- (c) Talking on an empty stomach. (I have second period class and English Chat afterwards.)
- (e) One time I went to French Chat and the tutor had a list of questions and answers. It gave us some direction for the conversation. Lots of people don't know about English chat, so maybe someone should visit classes and tell people to come to English Chat.

教育・学生支援機構教育支援センター ハドリー浩美
学務部教務課 (FL-SALC アシスタント) 江部早苗

<初修外国語>

FL Salc ドイツ語チャット: 2014 年度前期活動報告

1. 開催回数と参加者数:

曜日別参加者:

月曜日	チューター2名担当: Ole Stegelmann (Münster 大学) Michele Ritter (Bochum 大学)	10 回	参加人数: 48
木曜日	チューター2名担当: Dorina Dinnus (Münster 大学) Lars Eufinger (Bochum 大学)	11 回	参加人数: 57
合計	4 名	18 回	参加人数: 105

月曜日

開催日 (月)	5月19日	5月26日	6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	7月8日	7月14日	7月23日	7月28日
参加者数	6人	5人	3人	5人	3人	4人	3人	7人	6人	6人

(平均: 4.8 人参加)

木曜日:

開催日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日	7月3日	7月10日	7月17日	7月24日
参加者数	8人	8人	6人	6人	5人	6人	2人	4人	3人	4人	5人

(平均: 5.2 人参加)

2.1. 月曜日開催ドイツ語チャット活動内容:

参加者の都合もあったと思われるのだが、月曜日のドイツ語チャットは留学経験のある学生やこれから留学する学生の参加が多く、リピーターも多かったようである。使用言語としてはドイツ語・日本語の割合がドイツ語80%~90%対日本語20%~10%という報告がある。7月はドイツへの留学月間というテーマで実施したために、ドイツ語・日本語の割合は70%対30%になっていた。

月曜日担当したチューターは日本語が中級レベルで、1人の専攻は日本研究でアイデンティティと比較文化的な内容にはかなり興味を持っていたため、チャット内容にも大きく影響した。

具体的には以下のテーマでチャットを進めた:

1. 5月19日: 自己紹介、ドイツ語の気に入り単語、ドイツ語学習ゲーム (Gesprächsstoff)。
2. 5月26日: 合すじ、スラング、iPad でドイツ語のビデオを鑑賞。
3. 6月9日: 週末の活動を語り (現在完了形)、ドイツ語学習ゲーム (Tabu Junior)。そのカードゲームのおかげで参加者全員がなるべくドイツ語を使用する動力が深まったようである。
4. 6月16日: チャットのスタート時点でワーミングアップ用の質問で始まることにした。ドイツでのインターンシップとドイツでの就職の可能性についての色々なリンクを紹介。日本語の独特の語彙 (懐かしい、本音&建前、恋しいなど) をドイツ語で説明させた。
5. 6月23日: 趣味について、日本語の独特の語彙 (お疲れさま、逆切キレ、以心伝心など) をドイツ

語で説明させた。ドイツ語学習ゲーム (Tabu Junior)

6. 6月30日: サッカーワールドカップ、サッカー用語、YouTubeでのサッカーに関するビデオを鑑賞。ドイツを一周旅するドイツ語学習用のボードゲーム (Die Rundreise)
7. 7月7日: ドイツ語の“lass es ... sein.“ (やめた方がいい) というフレーズを練習。ドイツ語学習ゲーム (Activity)。
8. 7月14日: これから留学する参加者のために質問タイムを設定: ドイツの治安、チップ、保険、外食、交通、買い物と食材、携帯電話、電車の切符購入について。
9. 7月23日: 日常会話練習やスラングについて。ロールプレイ: スーパーでの買い物 (ハム、チーズ、パン屋のばらうり)、レストランの支払い方、誰かを知り合うと誘う、110番、美容院での会話。
10. 7月28日: ドイツ留学中の懐かしく思ったもの、ドイツ語でのポップスビデオ鑑賞、学生文化とは何か? 日常会話練習: 電話での会話。

2.2. 木曜日開催ドイツ語チャット活動内容:

月曜と同様、参加者の都合によると思われる、木曜日のドイツ語チャットへの参加者は1年生・2年生が多く、ドイツ留学経験がない学生は多かった。そのため月曜日とちがって、ドイツ語・日本語の割合少し低く、ドイツ語70%~75%~80%対日本語30%~25%~20%であった。チューター1人は日本研究を専攻していて、日本語レベルが高かった。

具体的には以下のテーマでチャットを進めた:

1. 5月15日: 自己紹介&ドイツ語学習カードゲーム (Deutschlandquartett)
2. 5月22日: 自己紹介&ドイツ語学習カードゲーム (Deutschlandquartett)
3. 5月29日: ドイツ語学習ゲーム: ドイツ語でレース (Deutschrennen)
4. 6月5日: ドイツでの年末年始の過ごし方&ドイツ語学習ゲーム (Deutschrennen)
5. 6月12日: ドイツ語学習ゲーム „Story Cubes“: 連想して物語を考え、言葉にする。
6. 6月19日: ドイツ語学習ゲーム „Story Cubes“: 繋がっている物語を考え、言葉にする。
7. 6月26日: お互いの写真を見せ合う。ドイツ語学習ゲーム „Story Cubes“。
8. 7月3日: ドイツでの冬とそのときの電車通勤 (問題、経験など)、うわさばなしとぐち、バスと交通機関の切符、食事: 味噌汁、それにドイツで手に入る野菜。
9. 7月10日: ドイツを一周旅するドイツ語学習用のボードゲーム (Die Rundreise): ことわざと決まり文句、語順、地理、ドイツでの都市、語彙。
10. 7月17日: ドイツのバーベキュー実情、フランス、果物、疲れる行動。
11. 7月24日: ドイツ語学習ゲーム „Story Cubes“: 現在完了形を使った物語を考え、言葉にする。

3. 教員コメント

なるべく授業とは異なる環境が望ましいため、あえてテーマをあまり固定しない形でチャットを進行した。とはいえ、参加者の要望に応じて、チューターと教員が開催前に相談しながら、ある程度内容を組むこととした。担当教員は立ち会わないので、各回についてチューターかた詳しい報告を書かせたため、ある程度チャットの状態を把握でき、これからも同じく進めたいと思っている。

ドイツ語レベルに関してはとくに曜日による設定がなく、参加者はお互いに先輩・後輩を利用しながら勉強し合えるような狙いからであった。しかし、特に留学経験のある参加者 (ドイツ語中級レベル) はそれが逆に足を引っ張られるという報告も受け、これからのチャットは初級 (留学前)、中級レベル (留学後) に分けた方がいいということを今検討している。

チューター側からは1回当たり、2人で担当することが大変好評であり、可能なかぎりこれからもチ

ューター 2 人での形を進めたいと考えている。

特に月曜日のチャットはリピーターが多く、固定したグループが出来上がってしまった傾向が見られ、途中参加が難しく感じていた参加者の声もあった。これからの開催に当たってはマンナーとして、チャットがスタートの時点で、チューター含め、参加者全員の自己紹介タイムを設定するようにという参加者提案があり、ぜひ次回から実施したいと考えている。

全体的にはリピーターが多かったのだが、ドイツ語チャットは合わせて 105 人の参加者にも上り、**FL-Salc** が提案している自立学習につながっていると言える。ドイツ語チャットは授業の補足の役割を果たただけでなく、ドイツ語ネイティブのチューターとのふれあいによる異文化理解も深められるから、大変良い試みだという印象がある。これからも新潟大学初修外国語教育のキャリアラムの中に、しっかりと取り入れ、絶対に続くべきだと思う。

2014年・前期 初修外国語チャット(中国語)

○活動内容について

「中国語チャットから学んだこと」

(中国語担当チューター：宋慧娟)

新潟大学に在る間、中国語チャットのチューターを担当して本当に良かったと思います。この一年間、日本や韓国などの中国語学習者と出会って、一生に忘れられない思い出を作りました。私は大学が学生のために中国語チャットのような企画をすることに感謝しています。

中国語チャットのチューターになり、日本人の方々や外国人の留学生と仲良くなりました。この一年間のチャット内容を振り返ると、主に次のような活動をしました。一学期のチャットで担当するチューターの私と張さんは週にチャットテーマを決め、学習者の皆さんに練習する内容をよく説明した後、みなさんと一緒に会話をしました。二学期から、私とリンさんは学習者の興味を持っている点について中国語で紹介しながら、学習者の国の様子も比べました。チャットの間、私たちはできるだけ学習者の積極性を促し、参加する学生の練習時間を確保しました。また、中国の祝日の話もできるだけ会話の内容に追加しました。中秋節、老人の日、旧暦の春節など、たくさん話題で盛り上がりました。

チャットの時間外も私たちは学習者の皆さんとよく活動をしました。流し素麺の体験会、水餃子の手作りパーティーなどたくさんことをしました。新潟市中央区の古町で行われた春節祭では中国語チャットに参加した学生さんが中国のテレビ局のジャーナリストにインタビューに答えました。彼らは流ちょうな中国語で中日平和を祈る心をみなさんに伝えました。

私は中国語チャットを開催する目的が達成したと感じています。学習者の皆さんの一生懸命に勉強する姿、彼らが素晴らしい発音をする姿、チューターだけではなく、中国人留学生と交流する姿を、私は心のどこかでずっと覚えていると思います。

これからも中国語チャットのような企画をどんどん実施してください。中国語チャットのチューターを担当させて、まことにありがとうございました。

○実施状況と参加人数

中国語 5月 6月 7月		
月日	曜日	参加人数
5月29日	木曜	15
5月30日	金曜	9
5月合計		24
6月5日	木曜	6
6月6日	金曜	9
6月12日	木曜	6
6月13日	金曜	8
6月19日	木曜	8
6月20日	金曜	7
6月26日	木曜	9
6月27日	金曜	7
6月合計		60
7月3日	木曜	8
7月4日	金曜	6
7月10日	木曜	5
7月11日	金曜	7
7月17日	木曜	5
7月18日	金曜	7
7月24日	木曜	9
7月25日	金曜	7
7月合計		54
チューター	木2名	
	金2名	計4名
開催場所:中央図書館B棟3階 第5グループ学習室		

2014年・前期 初修外国語チャット(フランス語)

○活動内容について

2014年第1学期のフランス語チャットは、毎週1回、水曜日5限に附属図書館内のFL-SALCにて、フランスからの交換留学生5名をチューターに採用し、5月連休明けから7月最終週までの12回に渡って開催した。

FL-SALC 2階の丸テーブル席やその付近の座席を使い、毎回、参加者を初級者と中上級者にグループ分けした。初級者グループを設定したのは、前年度とは違って4月に学習を始めたばかりの1年次生の参加者があったためである。外国語チャット全体のマネジメントを担当される江部氏によれば、この学期はどの外国語でも新入生の意欲が高く、チャット開催前に1年生からの問い合わせが多く寄せられたとのことであった。さらに、初級者グループが設定可能であったのは、フランス語チャットやチューター経験の豊かな信頼のおける留学生の存在が大きい。

毎回の活動内容は、初級者グループは留学生主導で、入門者向けのフランス語表現を練習したり、フランスの生活文化について留学生が話をしたり、参加者の質問に答えたりしていた様子である。中上級者グループは、留学生1名に対して参加者2、3名程度の小グループに分かれ、フランス語チャット担当教員が各小グループに課題を配布した。課題を解きながら、参加者は留学生と共に、文中に現れる事象に関連する事柄をフランス語や日本語で話し合った。

留学生一人当たりが担当する参加者が少ないため、参加者は毎回じゅうぶんに留学生と話し合うことができた。このため、留学生と仲良くなることができて満足だ、と参加者から好意的な評価を得ている。その反面、チャットが回数を重ねるに連れてグループのメンバーが半ば固定化し、新規参加者があまり入ってこなかったことが反省点として挙げられている。

チャットの中ではグループに分かれて活動を行っていたが、終了後には付近の飲食店に出かけ、全員が一つのテーブルを囲んで食事会を行っていた様子である。このような折には留学生と参加者との間だけでなく、参加者同士が学年を問わずに交流する機会となり、留学予定や留学経験のある先輩から情報や助言を得ることができた、との感想が参加者から寄せられている。(駒形千夏)

○実施状況と参加人数

フランス語 5月 6月 7月		
月日	曜日	参加人数
5月14日	水曜	12
5月21日	水曜	8
5月28日	水曜	15
5月合計		35
6月4日	水曜	12
6月11日	水曜	7
6月18日	水曜	11
6月25日	水曜	15
6月合計		45
7月2日	水曜	11
7月9日	水曜	10
7月16日	水曜	10
7月23日	水曜	3
7月30日	水曜	10
7月合計		44
チューター	5名	
開催場所:中央図書館B棟2階 FL-SALC 丸テーブル		

2014年・前期 初修外国語チャット(朝鮮語)

○活動内容について

法学部2年の金永(キム・ヨン)君と、交流協定校であるイナ大学からの交換留学生、李尹根(イ・ユンゲン)君の2名に来てもらい、参加者を2つのグループに分けて、それぞれ自由会話の時間を持った。日本人学生のうち、初修外国語「朝鮮語」を履修したわけではなく、K-POPが好きだからという理由で参加した学生が約4分の1を占めたことは意外であった。また、イナ大学に長期(交換)留学した上級生も参加してくれたが、留学生との韓国語での会話に、他の学生(特に1年生)がついていけなかったかも知れない。ただし、その分「先輩みたいに韓国語を話せるようになりたい」というモチベーションアップにはつながったようである。(そのお蔭か、当日の参加学生から、2015年2月15日に開催された、駐日韓国大使館韓国文化院主催「2015 話してみよう!韓国語 新潟大会」指定スキット部門「最優秀賞」受賞者が選出されたことを付言したい。)

したがって、次年度以降の課題として、当日の参加学生の人数と内訳(興味関心分野)の見込みが立ちにくい分、事前に1、2名、「韓国語会話専門」「K-POP専門」の学生を決めておき(謝金支払有)、グループでの会話を主導してもらう必要があると思う。

(藤石貴代)

○実施状況と参加人数

朝鮮語 7月	
	参加人数 (人)
7月16日	13
7月17日	18
合計	31
チューター	各2名ずつ
開催場所	中央図書館 B 棟 3階第5グループ学習室(7月16日)・総合教育研究棟(7月17日)